

第13回日本くすりと糖尿病学会学術集会

プログラム

第1日目 11月2日(日)

第2日目 11月3日(月・祝)

プログラム

Program

指定演題

会長講演

11月2日（日）8：45～9：15、第1会場 メインホール（1階のみ）

感謝される医療とされない医療

座長：堀川 俊二（寺岡記念病院 薬剤科）

演者：松本 晃一（東京医科大学茨城医療センター 薬剤部）

理事長講演

11月3日（月・祝）8：40～9：20、第1会場 メインホール（1階のみ）

新たな時代の糖尿病医療へ—学会の成長と未来の役割—

座長：篠原 久仁子（株式会社フローラ・恵比寿ファーマシー）

演者：朝倉 俊成（新潟薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター）

特別講演

11月2日（日）9：20～10：20、第1会場 メインホール（1階のみ）

高齢者糖尿病診療の現在地

座長：松本 晃一（東京医科大学茨城医療センター 薬剤部）

演者：鈴木 亮（東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野）

教育講演1

11月2日（日）10：20～11：20、第1会場 メインホール（1階のみ）

小児1型患者の病態、ケア、家族へのサポートで気を付ける点

座長：本間 真人（筑波大学附属病院 薬剤部）

演者：岩淵 敦（筑波大学 医学医療系 小児科）

教育講演2

11月2日（日）10：20～11：20、第3会場 中会議室202（2階）

糖尿病足病変における薬学的管理—現場でできることを共に考える—

座長：長沢 法子（つくばセントラル病院）

演者：西村 博之（医療法人社団陣内会 陣内病院／熊本大学大学院 生命科学研究部 臨床薬理学分野）

教育講演3

11月2日（日）13：10～14：10、第1会場 メインホール（1階のみ）

糖尿病の合併症と併存疾患

～糖尿病関連併存疾患クラスターを持つ患者をどうやって支えるか～

座長：松本 晃一（東京医科大学茨城医療センター 薬剤部）

演者：桂 善也（つちうら糖尿病内科クリニック）

プログラム

Program

教育講演4

11月2日（日）14：30～17：00、第2会場 中ホール200（2階）

禁煙と足病変の予防を考える

座長：相澤 政明（株式会社メディカルガーデン ガーデン薬局／日本禁煙学会 理事）

糖尿病があってもなくても、吸っていてもいなくても、まずは禁煙

演者：天貝 賢二（茨城県立中央病院 消化器内科）

糖尿病と喫煙 ―合併症リスク・加熱式タバコの影響・禁煙支援の実際

演者：相澤 政明（株式会社メディカルガーデン ガーデン薬局）

薬局で支える足の健康：観察と対話で築く糖尿病フットケア

演者：岡田 浩（和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学研究室）

教育講演5

11月3日（月・祝）9：40～10：30、第2会場 中ホール200（2階）

妊娠と糖尿病

座長：森 貴幸（大和調剤センター）

演者：小林 庸子（杏林大学医学部付属病院 薬剤部）

教育講演6

11月3日（月・祝）10：30～11：30、第2会場 中ホール200（2階）

糖質を考えた糖尿病食事療法 ～よき未来をはぐくむ食事療法の最前線～

座長：佐竹 正子（星薬科大学）

演者：山田 悟（北里大学北里研究所病院 糖尿病センター）

プログラム

Program

特別企画1

11月2日（日）14：30～17：00、第1会場 メインホール（1階のみ）

目覚めよ！専門薬剤師、チーム医療と未来のために

座長：篠原 久仁子（株式会社フローラ・恵比寿ファーマシー）
亀井 美和子（帝京平成大学 薬学部）

日本の医療制度に係る最近の動向と薬剤師に求められる専門性

演者：竹野 伸洋（厚生労働省 医政局 総務課）

認定・専門薬剤師制度の質保証に向けて

演者：安原 真人（公益社団法人薬剤師認定制度認証機構）

学会が目指す糖尿病薬物療法認定薬剤師と医療貢献

演者：朝倉 俊成（新潟薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター）

糖尿病患者の外来診療における医師から薬剤師へのタスクシフト／シェア

演者：丹代 恭太（盛岡赤十字病院 薬剤部）

がん専門薬剤師とタスクシフト／シェア

演者：大神 正宏（茨城県立中央病院 薬剤局薬剤科）

特別企画2

11月3日（月・祝）9：30～11：20、第1会場 メインホール（1階のみ）

糖尿病の最前線－IL-6と腎臓、GIP・GLP-1・Gluc、SMBGが未来を変える

座長：武田 真莉子（神戸学院大学 薬学部 医療薬学領域製剤系薬物送達システム学研究室）
家入 一郎（国際医療福祉大学 福岡薬学部）

非侵襲血糖センサーがもたらす糖尿病診療の将来

演者：山川 考一（ライトタッチテクノロジー株式会社）

腎臓を知ろうー透析患者の命を救う薬を目指してー

演者：伊藤 大介（CSL パーリング株式会社 研究開発本部 クリニカルリサーチ&ディベロップメント）

週1回持効型溶解 インスリンアナログ注射液 インスリン イコデクの開発と薬剤特性

演者：大津 正也（ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 開発本部 メディカルアフェアーズ部）

プログラム

Program

Survodutide（グルカゴン受容体／GLP-1 受容体デュアルアゴニスト）が拓く代謝性疾患治療の新たな可能性

演者：清水 敏史（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部 クリニカルディベロップメント・メディカルアフェアーズ 心・腎・代謝領域）

GLP-1 受容体作動薬の開発の歴史

演者：竹内 雅和（日本イーライリリー株式会社 研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部）

特別企画3

11月3日（月・祝）13：00～15：30、第1会場 メインホール（1階のみ）

疾患別対人業務ガイドラインと薬剤師の役割 ～フォローアップによる患者支援～

座長：篠原 久仁子（株式会社フローラ・恵比寿ファーマシー）
朝倉 俊成（新潟薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター）

疾患別対応マニュアルに込めた理念と薬剤師に託された未来

演者：太田 美紀（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安全性情報・企画管理部）

薬剤師に期待する糖尿病患者との対話

演者：河盛 隆造（順天堂大学）

薬局における糖尿病の対応マニュアルと地域連携

演者：篠原 久仁子（株式会社フローラ・恵比寿ファーマシー）

糖尿病薬物療法認定薬剤師が支える心不全×糖尿病 ～心不全対応マニュアルから紐解く薬剤師の役割～

演者：林 太祐（日本医科大学多摩永山病院 薬剤部）

市民公開講座

11月2日（日）13：00～14：00、第2会場 中ホール200（2階）

気を付けよう、あまい言葉と美味しい話～くすりの前にしておく糖尿病への用心

座長：長沢 法子（つくばセントラル病院）
演者：高橋 昭光（医療法人ターデシー 川井クリニック）

プログラム

Program

シンポジウム1（アドボカシーJADEC 合同シンポジウム）

11月2日（日）9：40～11：30、第2会場 中ホール200（2階）

JADEC共催シンポジウム 糖尿病スティグマに向き合う： 薬剤師ができること、すべきこと

オーガナイザー兼座長：大東 敏和（広島大学病院 薬剤部）

座長：阿部 真也（つなぐ薬局 足立／帝京大学 薬学部 薬学教育推進センター）

SY1-1

社会を動かすアドボカシー活動～JADECが展開する患者支援の最前線～

演者：津村 和大（川崎市立川崎病院）

SY1-2

通園や就学でスティグマを感じる糖尿病のある方に薬剤師ができること

演者：土屋 貴（地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 薬剤部）

SY1-3

就労でスティグマを感じる糖尿病のある方に薬剤師ができること

演者：清家 三紀（医療法人伊原クリニック）

SY1-4

スティグマを感じている糖尿病のある方を支援する薬剤師への期待

演者：水野 賀夫（福井県済生会病院 薬剤部）

共催：JADEC

シンポジウム2（はじめよう！研究発表から論文投稿への架け橋）

11月2日（日）9：30～11：30、第4会場 大会議室101（1階）

学会発表したものを投稿論文しよう～研究のネタ探しから論文投稿までの道のり

オーガナイザー兼座長：秋山 滋男（昭和薬科大学 臨床薬学教育研究センター）

増本 憲生（神戸赤十字病院 薬剤部）

SY2-1

日本くすりと糖尿病学会誌の投稿状況と投稿の際のポイント

演者：増本 憲生（神戸赤十字病院 薬剤部）

SY2-2

論文投稿からアクセプトまでの道のり

演者：倉田 香織（東京薬科大学 薬学部）

プログラム

Program

SY2-3

難しくない！統計の基礎知識～2群比較からはじめてみよう～

演者：井上 岳（北里大学 薬学部 薬物治療学Ⅲ）

SY2-4

発表だけで終わらせない！論文を執筆してみよう

演者：秋山 滋男（昭和薬科大学 臨床薬学教育研究センター）

シンポジウム3（JPDS将来計画委員会企画シンポジウム）

11月2日（日）13：10～15：00、第3会場 中会議室202（2階）

次世代を担う学会員の学会に対しての想いと今後について

オーガナイザー兼座長：本田 一春（公立昭和病院 薬剤部）
平泉 達哉（能代厚生医療センター 薬剤科）

SY3-1

糖尿病薬物療法認定薬剤師が創る未来

演者：野澤 彰（上都賀総合病院 薬剤部）

SY3-2

次世代の学会をどう描く？ ～若手薬剤師活動部会の視点から～

演者：六車 龍介（兵庫県立淡路医療センター 薬剤部）

SY3-3

アンケート結果からみた学会の持続的発展に向けた課題

演者：西田 承平（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）

SY3-4

持続可能な学会運営での経営的観点 ―経理担当理事として―

演者：佐竹 正子（星薬科大学）

プログラム

Program

シンポジウム4（災害シンポジウム）

11月2日（日）13：10～15：00、第4会場 大会議室101（1階）

薬剤師だからできる災害医療支援－DiaMATが拓く新たな災害時糖尿病医療連携－

オーガナイザー：佐藤 伸輔（東北医科薬科大学病院 薬剤部）
滝沢 康志（飯山赤十字病院 薬剤部）
座長：廣田 有紀（株式会社九品寺ファーマ セいら調剤薬局）
保坂 美香（芳賀赤十字病院 薬剤部）

SY4-1

災害時糖尿病支援チーム（DiaMAT）への取り組み ～各団体から求められる災害時の薬剤師について～

演者：佐藤 伸輔（東北医科薬科大学病院 薬剤部）

SY4-2

災害時に活動するために災害医療を理解しよう！

演者：滝沢 康志（飯山赤十字病院 薬剤部）

SY4-3

能登半島地震への災害派遣活動を行って ～薬局薬剤師の立場から思う事～

演者：直笠 晋一（あおぞら薬局 競馬場前店）

SY4-4

能登半島地震におけるDiaMATの活動に参加して思うこと ～未知の災害に備えて患者にどう伝えていくか～

演者：山崎 康晴（熊本中央病院 薬剤科）

シンポジウム5（CDEJ合同シンポジウム）

11月2日（日）15：10～17：00、第3会場 中会議室202（2階）

糖尿病に携わる薬剤師の活躍と後進育成を考える ～若手×ベテランが語り合う、糖尿病ケアの未来と人材育成～

オーガナイザー兼座長：工藤 浩史（国立国際医療センター 薬剤部）
辻本 勉（武庫川女子大学 薬学部）

SY5-1

これからの糖尿病医療と薬剤師CDEJの役割

演者：宇都宮 一典（日本糖尿病療養指導士認定機構／慈生会野村病院 内科／東京慈恵会医科大学）

SY5-2

レジデント教育を受けて病棟薬剤師始めました

演者：新妻 麗華（国立国際医療センター 薬剤部）

プログラム

Program

SY5-3

**先駆者が築き上げた地盤を引き継ぐ事になり必死に取り組みました
(大先輩が作り上げた土壌で悪戦苦闘・・・)**

演者：泉 亮介（株式会社hitotofrom まんまる薬局）

SY5-4

CDEJを維持する難しさと保険薬局で求められる役割

演者：古林 美貴（株式会社エスエムエスクラス ココロ調剤薬局 シンボルタワー店）

SY5-5

大学病院におけるCDEJの役割 ー開拓・教育・発展に向けてー

演者：久保田 亜希（名古屋大学医学部附属病院 薬剤部）

共催：CDEJ

シンポジウム6（デバイスを知り尽くそう） 11月2日（日）15：00～17：00、第5会場 大会議室102（1階）

デバイスを知り尽くそう

オーガナイザー兼座長：武藤 達也（名鉄病院 薬剤部）
中野 玲子（萬田記念病院 薬局）

共催企業：アボットジャパン株式会社

エムベクタ合同会社

サノフィ株式会社

株式会社三和化学研究所

テルモ株式会社

日本イーライリリー株式会社

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

LifeScan Japan株式会社

（アイウエオ順）

プログラム

Program

シンポジウム7（先進医療部会シンポジウム）

11月3日（月・祝）9：30～11：30、第5会場 大会議室102（1階）

先進医療機器を用いた糖尿病治療

オーガナイザー兼座長：井上 岳（北里大学 薬学部 薬物治療学Ⅲ）
小出 景子（慈誠会・光が丘病院 糖尿病センター）

SY7-1

医師の立場から考えるCGMの意義とCGMを活用した実際の外来および入院診療

演者：村山 友樹（筑波大学附属病院 内分泌代謝・糖尿病内科）

SY7-2

持続血糖モニタリング（CGM）を活用した多職種連携と栄養指導の実際

演者：浅見 暁子（筑波大学附属病院 病態栄養部）

SY7-3

現在のインスリンポンプ治療の細やかさ

演者：小出 景子（慈誠会・光が丘病院 糖尿病センター）

シンポジウム8（インスリンボール）

11月3日（月・祝）13：00～15：00、第2会場 中ホール200（2階）

インスリンボール

オーガナイザー：松本 晃一（東京医科大学茨城医療センター 薬剤部）
座長：武藤 達也（名鉄病院 薬剤部）
中野 玲子（萬田記念病院）

SY8-1

インスリン療法の皮膚合併症：リポハイパートロフィーとインスリン由来アミロイドーシス

演者：永瀬 晃正（則武内科クリニック）

SY8-2

インスリンボールのエコー画像とそれ以外に知り得たこと

演者：菊地 実（日本医療大学 保健医療学部 診療放射線学科）

SY8-3

「皮下硬結アセスメント」から考えるインスリン導入後の長期継続支援の在り方 ～薬剤師さん！声をかけてみて！診て！～

演者：益成 宏（株式会社石丸 一正商店 石丸薬局 周陽店）

プログラム

Program

シンポジウム9（認定委員会）

11月3日（月・祝）13：00～15：00、第4会場 大会議室101（1階）

認定薬剤師への一步を踏み出そう！ 実践から認定薬剤師へ

オーガナイザー兼座長：鈴木 さとみ（大崎市民病院 薬剤部）
野澤 彰（上都賀総合病院 薬剤部）

SY9-1

認定薬剤師を育てる地域の取組み ～糖尿病治療の未来を支える～

演者：大東 敏和（広島大学病院 薬剤部）

SY9-2

認定薬剤師の病院での取り組み～糖尿病治療を地域で支えていくために～

演者：坂井 千夏（東京医科大学病院 薬剤部）

SY9-3

臨床研究が与えてくれたもの—目指すべき認定薬剤師とは—

演者：山本 高範（国立病院機構 三重病院 薬剤科）

シンポジウム10（日本腎臓病薬物療法学会共催シンポジウム）

11月3日（月・祝）13：00～15：00、第5会場 大会議室102（1階）

“腎臓” への理解から広がる私たちの専門性 ～糖尿病のある患者さんに私たちが今、できること～

オーガナイザー：井上 岳（北里大学薬学部／北里大学北里研究所病院 薬剤部）
濱谷 忠佑（八雲総合病院 薬局）
座長：堀井 剛史（武蔵野大学 薬学部）
木村 正彦（自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部）

SY10-1

糖尿病腎症進展予防における薬剤師の役割と多職種連携の展望

演者：堀井 剛史（武蔵野大学 薬学部）

SY10-2

保険薬局薬剤師が糖尿病を持つ人に対して「今、できること」 ～腎症重症化予防から腎機能を考慮した処方提案まで～

演者：福井 章人（総合メディカル株式会社 そうごう薬局西冠店）

SY10-3

病院薬剤師が挑む糖尿病透析予防—腎機能評価から薬薬連携まで—

演者：木村 正彦（自治医科大学附属さいたま医療センター）

プログラム

Program

SY10-4

糖尿病と腎臓病における栄養療法の共通点と相違点
—糖尿病性腎症の重症化予防段階の課題を中心に—

演者：柴田 百合恵（東京医科大学茨城医療センター 栄養管理科）

プログラム

Program

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1

11月2日（日）11：40～12：50、第1会場 メインホール（1階のみ）

座長：朝倉 俊成（新潟薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター）
遅野井 健（医療法人健清会 那珂記念クリニック）

薬剤師として押さえておくべきインスリン イコデク製剤（アウィクリ®注）の適正使用にかかわるポイント

演者：朝倉 俊成（新潟薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター）

最適なダイアベティスケア実践に向けて ～Weekly Insulinの期待と実際～

演者：遅野井 健（医療法人健清会 那珂記念クリニック）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

ランチョンセミナー2

11月2日（日）11：40～12：50、第4会場 大会議室101（1階）

経口GLP-1受容体作動薬の真価とは ～患者は正しく服用できているのか～

座長：松本 晃一（東京医科大学茨城医療センター 薬剤部）
演者：中野 玲子（医療法人萬田記念病院 薬局長）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社／MSD株式会社

ランチョンセミナー3

11月3日（月・祝）11：45～12：45、第1会場 メインホール（1階のみ）

日本初上陸から17年目を迎えるインクレチン関連薬の軌跡

座長：本間 真人（筑波大学附属病院 薬剤部）
演者：高本 偉碩（東京医科大学茨城医療センター 代謝・内分泌内科）

共催：田辺三菱製薬株式会社

ランチョンセミナー4

11月3日（月・祝）11：45～12：45、第4会場 大会議室101（1階）

糖尿病治療薬と腸管内代謝

座長：野澤 彰（上都賀総合病院）
演者：入江 潤一郎（関西医科大学 内科学第二講座 糖尿病科）

共催：大正製薬株式会社

プログラム

Program

一般演題

一般演題1

11月2日（日）9：40～10：30、第5会場 大会議室102（1階）

座長：藤井 博之（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部）
平山 大徹（HEC サイエンスクリニック）

O-01

糖尿病薬物療法の安全性向上と質の高いフォローアップを目指して
～糖尿病薬チェックシートの作成と普及活動～

演者：川口 健（広島県病院薬剤師会 専門薬剤師委員会（糖尿病））

O-02

インスリン注射を継続できずケトーシスを繰り返すために週1回持効型溶解
インスリンアナログ注射液を導入した1型糖尿病の1例

演者：稲田 海斗（国立国際医療センター 薬剤部）

O-03

インスリン注射手技研修がもたらす薬剤師への影響

演者：飯田 綾（株式会社クリエイトエス・ディー）

O-04

インスリン製剤のデバイス変化によるHbA1cへの影響の調査

演者：山根 靖弘（国際親善総合病院 薬剤部）

O-05

オートインジェクター（アテオス[®]）に固定装着されている専用針の特性
～各種基礎性能試験等による評価～

演者：朝倉 俊成（新潟薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター）

一般演題2

11月2日（日）10：40～11：30、第5会場 大会議室102（1階）

座長：家入 一郎（国際医療福祉大学）
菊池 千草（昭和薬科大学 地域医療部門）

O-06

バクスミーの手技指導実習と認知度調査について3

演者：藤 啓子（医療法人小西第一病院）

O-07

H₂-filled Ultrafine bubblesによるインスリン経口吸収促進機構の解明と臨床活用の可能性

演者：村瀬 諒祐（神戸学院大学 薬物送達システム学研究室）

プログラム

Program

O-08

ヒト血漿中ビルダグリプチンとその主代謝物の同時測定法の開発

演者：朝倉 充俊（信州大学医学部附属病院 薬剤部）

O-09

BiCA-assisted SNAC systemを併用したユニオーブ®化インスリン経口製剤開発研究

演者：飯田 翔輝（神戸学院大学 薬学部 薬物送達システム学研究室）

O-10

GIP/GLP-1 受容体作動薬チルゼパチドが食行動に与える影響の検討

演者：山本 高範（三重病院 薬剤科／三重中央医療センター 臨床研究部）

一般演題3

11月2日（日）13：30～14：20、第5会場 大会講室102（1階）

座長：室井 延之（神戸市立医療センター中央市民病院）

小林 庸子（杏林大学医学部附属病院 薬剤部）

O-11

ペマフィブラートIRからXRへの切替えにおける有効性と安全性の実臨床評価 —糖尿病合併症例における検討—

演者：津田 雅大（JA北海道厚生連 帯広厚生病院）

O-12

手術や侵襲的処置を延期させない周術期の安全対策

演者：井上 稚枝子（倉敷成人病センター 医療安全管理室）

O-13

糖尿病網膜症の早期発見にむけた保険薬局での取り組み

演者：青木 一恭（株式会社ピノキオ薬局）

O-14

当院の褥瘡保有患者における糖尿病の影響

演者：本野 雅子（医療法人徳洲会 鎌ヶ谷総合病院）

O-15

トレーシングレポートから見た低血糖およびシックデいの患者理解について

演者：西平 和子（神戸赤十字病院 薬剤部）

プログラム

Program

一般演題4

11月3日（月・祝）9：40～11：00、第4会場 大会議室101（1階）

座長：平泉 達哉（能代厚生医療センター 薬剤科）
廣田 有紀（株式会社九品寺ファーマ セいら調剤薬局）
齋藤 健一（埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部）
柳瀬 昌樹（愛染橋病院 薬剤科）

O-16

当院におけるチルゼパチドが使用中止となった症例の検討

演者：久保田 厚子（山口県済生会豊浦病院 薬剤部）

O-17

当院におけるポリファーマシー対応への取組み—血糖降下薬の見直しを行った事例を中心に—

演者：神原 弘恵（尾道市立市民病院 薬剤部）

O-18

糖尿病治療薬のシックデイルール指導カードを用いた薬剤師による退院時指導の有用性

演者：岩下 智子（帝京大学医学部附属病院 薬剤部）

O-19

動機づけ面接を用いた糖尿病療養指導への可能性 ～スティグマにとらわれず、ともに歩む～

演者：高野 美帆（丸の内MIコミュニティ（MMiC））

O-20

福島県立医科大学附属病院薬剤部の糖尿病スティグマ、アドボカシー活動に関する認識調査

演者：伊藤 理咲（福島県立医科大学附属病院 薬剤部）

O-21

当院におけるイメグリミン追加投与の効果検討

演者：沖田 菜摘（医療法人 一陽会 原田病院）

O-22

イメグリミンの腎機能低下患者への使用調査

演者：簗島 隆仁（湘南鎌倉総合病院 薬剤部）

O-23

当院におけるSGLT-2阻害薬の副作用についての後ろ向き調査

演者：田仲 祐子（医療法人徳洲会 中部徳洲会病院）

プログラム

Program

ポスター発表

示説 奇数：11月2日（日）16：15～17：00、偶数：11月3日（月・祝）13：30～14：15

ポスター会場 多目的ホール（1階）

P-01

糖尿病専門チームによる高齢者認知症に伴う糖尿病治療を取り扱う薬剤師への指導
～糖尿病薬物療法認定薬剤師が介入した事例～

演者：森田 肇（クリエイト薬局 秦野鶴巻店）

P-02

HbA1cの測定率増加に向けた糖尿病チーム医療推進委員会としての取り組み
～適切な糖尿病治療の提供を目指して～

演者：山下 恵梨香（医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院 薬剤部）

P-03

TMG 薬剤部糖尿病ワーキンググループによる部内研修会充実化に向けた取り組みと評価（第3報）

演者：吾妻 隼斗（牧野リハビリテーション病院 薬剤科）

P-04

糖尿病専門医不在の慢性期病院における日本糖尿病療養指導士の役割
～次世代育成のためにできること～

演者：荒井 麻衣（医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 薬剤科）

P-05

包括的支援が困難な認知症併発2型糖尿病患者の血糖コントロールが奏功した1例

演者：橋本 薫（医療法人社団 聖秀会 聖光ヶ丘病院 薬剤課）

P-06

外来がん化学療法施行中の糖尿病患者におけるテレフォントローエを通じた重篤低血糖回避の一例

演者：島 優馬（株式会社フロンティア フロンティア薬局 日立店）

P-07

インスリン自己注射が困難な患者に対しインスリンイコデクを導入した1例

演者：服部 翔太（藤田医科大学岡崎医療センター 薬剤部）

P-08

週1回製剤のインスリンイコデク及びデュラグルチド併用療法により良好な血糖コントロールを
しえた高齢2型糖尿病患者の1例

演者：水谷 貴樹（小牧市民病院 薬局）

プログラム

Program

P-09

インスリン手技獲得困難患者に対しデیلیー製剤から週1回製剤へ変更し血糖改善に至った一例

演者：青木 有希子（北海道済生会小樽病院 薬剤室）

P-10

入院でインスリン イコデクを導入した4例

演者：船江 智子（市立芦屋病院 薬剤科）

P-11

糖尿病薬物療法認定薬剤師の介入によりインスリンイコデクを安全に導入できた糖尿病在宅患者の3症例

演者：阿部 真也（つなぐ薬局 足立／帝京大学薬学部 薬学教育推進センター）

P-12

当院におけるインスリンイコデクの使用状況調査

演者：杉山 蘭子（医療法人川崎病院 薬剤部）

P-13

低用量導入法（ローディングなし）を用いたインスリンイコデクへの切替が血糖コントロールに与える影響

演者：富室 伸紘（なの花薬局大通店）

P-14

weeklyのGLP-1 受容体作動薬にweeklyのインスリン製剤を併用導入した症例

演者：十亀 直敬（一般財団法人 積善会 十全総合病院 薬剤科）

P-15

当院におけるチルゼパチド導入後の継続率と副作用の発生頻度の調査

演者：宮本 祐葉（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部）

P-16

薬局におけるインクレチン関連薬の重複事例に関する調査 ～日本医療機能評価機構ヒヤリ・ハット事例に基づく分析～

演者：上羽 真美（フラム薬局）

P-17

GLP-1 受容体作動薬（注射）の最大用量使用患者のチルゼパチドへ変更による評価

演者：葛葉 守（萬田記念病院 薬局）

プログラム

Program

P-18

2型糖尿病患者におけるチルゼパチド治療反応性に関する検討

演者：潮田 真生（協和会病院 薬剤科）

P-19

当院におけるチルゼパチドの2型糖尿病高齢者および低BMI患者に対する安全性の検討

演者：梅庭 大地（手稲溪仁会病院 薬剤部）

P-20

チルゼパチド皮下注の胃腸障害に関する予測因子の調査

演者：北野 達哉（社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 薬剤部）

P-21

ヒト血漿中ビルダグリプチンとその主代謝物の同時測定法の開発

演者：朝倉 充俊（信州大学医学部附属病院 薬剤部）

P-22

酸化的ストレス誘発細胞死におけるGIP/GLP-1受容体作動薬およびGLP-1受容体作動薬の細胞保護作用に関する比較検討

演者：石村 淳（星薬科大学 実務教育研究部門 臨床評価学研究室）

P-23

FAERSを用いたピオグリタゾン使用者におけるインクレチン関連薬の併用と骨折リスク低減に関する検討

演者：大山 勝宏（東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター）

P-24

がん化学療法時のデキサメタゾン投与に伴う糖尿病患者の血糖変動とMES（Medication Effect Score）を指標とした血糖管理方法の検討

演者：井上 岳（北里大学 薬学部 薬物治療学Ⅲ）

P-25

クロピドグレルとレパグリニド併用による重症低血糖リスクを薬剤師の介入により回避した一例

演者：齋藤 健一（埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部）

P-26

薬剤師の介入により 良好な血糖管理が可能になったステロイド糖尿病の一例

演者：堀 浩子（医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院 薬剤部）

プログラム

Program

P-27

腎機能低下患者におけるマンジャロ[®]皮下注の使用実績

演者：加藤 大和（東葛病院）

P-28

糖尿病患者における残薬の状況と残薬調整が血糖管理に与える影響

演者：田中 伸明（春日井市民病院 薬剤科）

P-29

薬剤総合評価調整加算活用による全世代型ポリファーマシー対策への当院の挑戦

演者：成田 瞳（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 薬剤部）

P-30

セマグルチド服用継続を苦渋した患者に薬剤使用期間中のフォローアップを通じて飲水量を確認したことで服薬継続が確認できた一症例

演者：大場 典子（江東調剤薬局）

P-31

保険薬局における経口GLP-1受容体作動薬服用患者の服薬遵守に関する単施設後方視的研究

演者：守 博史（望星薬局）

P-32

ノボラピッド[®]注フレックスタッチ[®]からフレックスペン[®]へ切り替え患者の使用状況調査

演者：大瀧 淳也（望星薬局）

P-33

万年筆型注入器専用針変更による使用感の調査 続報

演者：姫野 晃廣（東葛病院）

P-34

インスリン注射タイミングに関するスタッフの意識調査

演者：永瀨 良章（川内市医師会立市民病院 薬剤部）

P-35

“できているつもり”と“できているはず”の落とし穴 ～デュラグルチド未投与が2年間見逃された一例～

演者：栗原 大貴（JA尾道総合病院）

P-36

株式会社大和調剤センター勤務薬剤師、実務実習生のCGMに関する認知度・理解度の調査研究

演者：尾田 哲哉（株式会社大和調剤センター ウラン薬局）

プログラム

Program

P-37

造影剤腎症発症の実態調査

演者：内山 美智恵（北九州市立医療センター 薬剤課）

P-38

シックデイを契機に発症したメトホルミンによる乳酸アシドーシスを呈した1例

演者：板垣 礼香（独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 薬剤部）

P-39

SGLT2阻害薬内服中に薬剤師の早期介入が正常血糖ケトアシドーシスを回避した一例

演者：水田 康裕（国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部）

P-40

HIF-PH阻害薬とSGLT2阻害薬の併用がHb管理に及ぼす臨床的影響

演者：勢力 育美（関西医科大学附属病院 薬剤部）

P-41

薬局薬剤師が服用期間中の電話フォローアップを行いSGLT2阻害薬開始後の低血圧発現に対応できた1事例

演者：上野 愛（総合メディカル株式会社 そうごう薬局 熊本中央店）

P-42

薬剤師のTDM介入により治療継続が可能となったシベンゾリン誘発性低血糖の一例

演者：中島 章雄（福岡大学筑紫病院 薬剤部／福岡大学 薬学部 病院薬学教室）

P-43

統合失調症を有する患者におけるクエチアピン関連低血糖とCGMによる観察を用いた1例

演者：濱谷 忠佑（八雲総合病院 薬局）

P-44

山形県内病院における低血糖対応に関するアンケート調査

演者：鎌田 敬志（鶴岡市立荘内病院 診療部 薬局）

P-45

透析患者の体重管理を意識した欠食とインスリン単位調整による低血糖に介入した1例

演者：戸上 智郁保（総合メディカル株式会社 そうごう薬局 塩原店）

P-46

多剤服用により引き起こされた嘔気・倦怠感を訴える2型糖尿病患者症例

演者：内野 友美（ウエルシア薬局 富士見ふじみ野東店）

プログラム

Program

P-47

STOP！SGLT2阻害薬による正常血糖ケトアシドーシスに向けた取り組み

演者：小椋 良太（独立行政法人公立甲賀病院 薬剤部）

P-48

フィネレノン投与開始後の腎機能に与える影響についての短期使用成績調査

演者：増井 加奈（社会医療法人誠光会淡海ふれあい病院 薬剤科）

P-49

フィネレノン投与による効果と安全性の検討

演者：原 敬一（東邦大学医療センター佐倉病院 薬剤部）

P-50

糖尿病患者においてミロガバリンがHbA1cに及ぼす影響の実態調査

演者：石原 直子（一般財団法人霞ヶ浦成人病研究事業団 霞ヶ浦薬剤センター薬局）

P-51

外来糖尿病患者へのデジタルサイネージを用いた患者教育による影響の評価

演者：中嶋 亮輔（国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院 薬剤科）

P-52

小児糖尿病サマーキャンプレクリエーション企画「自己紹介すごろく」

演者：内山 さくら（琉球大学病院 薬剤部／沖縄県病院薬剤師会 糖尿病分科会）

P-53

糖尿病網膜症の早期発見にむけた保険薬局での取り組み

演者：青木 一恭（株式会社ピノキオ薬局）

P-54

薬局薬剤師による糖尿病患者へのフットケア指導の現状調査：記述的横断研究

演者：諸井 圭輔（さくら薬局 アーバンモール新宮店）

P-55

糖尿病性足病変の重症化予防における薬局の支援と課題

演者：山口 恵理子（トライアドジャパン株式会社 かもめ薬局 柿生店）

P-56

保険薬局における糖尿病患者の歯周病予防のための歯科受診勧奨の取り組み

演者：森 寛子（総合メディカル株式会社 そうごう薬局 佐賀兵庫店）

プログラム

Program

P-57

薬局薬剤師が病院研修に参加し薬局で患者に還元できた事例の報告

演者：松岡 咲（株式会社なの花東日本 なの花薬局 横須賀金谷店）

P-58

薬局薬剤師による糖尿病患者フォローアップの実態と有用性の検討

演者：長谷川 実季（株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 板橋店）

P-59

薬業連携によるシックデイルールの統一と糖尿病患者への運用

演者：前田 有斗（さくら薬局 行橋店）

P-60

糖尿病教育入院患者へのシックデイルールの説明に対する患者アンケート調査

演者：伊藤 健二（地方独立行政法人りんくう総合医療センター 薬剤部門）

P-61

演題取り下げ

P-62

仙台赤十字病院糖尿病代謝科の糖尿病教育入院患者へのシックデイ時の対応に関する薬剤師の取り組み

演者：篠村 五子（仙台赤十字病院 薬剤部）

P-63

シックデイ指導前後のアンケート調査

演者：末吉 ちなみ（医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院）

P-64

保険薬局における糖尿病患者への骨粗鬆症予防啓発および受診勧奨の取り組み

演者：五島 梢（総合メディカル株式会社 そうごう薬局 菊池店）

P-65

面対応調剤薬局における糖尿病注射薬指導のための教育の取り組み

演者：宮崎 晴美（株式会社なの花東日本 なの花薬局 昭島駅前店）

P-66

セマグルチド錠服用患者に対してLINE経由の服薬管理アプリによるフォローアップの実施が処方適正化に繋がった1例

演者：竹村 美沙（総合メディカル株式会社 そうごう薬局 伊勢原店）

プログラム

Program

P-67

自己注射拒否の強い高齢2型糖尿病患者に対し、家族によるインスリンイコデク注射導入を行うことで血糖コントロール改善した一例

演者：坂井 千夏（東京医科大学病院 薬剤部）

P-68

保険薬局における調剤後薬剤管理指導料1（糖尿病）の取組状況について

演者：東谷 崇之（株式会社なの花北海道 なの花薬局 札幌新川店）

P-69

保険薬局の健康サポート機能を活用した1型糖尿病患者会の取り組み

演者：杉野 千尋（総合メディカル株式会社 そうごう薬局 天神中央店）

P-70

ChatGPTを用いた糖尿病療養支援 ～薬剤師の臨床的洞察力が回答精度を高める～

演者：相澤 政明（株式会社メディカルガーデン ガーデン薬局）

P-71

生成AIは糖尿病療養支援に使えるか？ ChatGPTとGeminiの症例比較による検討

演者：大河内 貴浩（株式会社メディカルガーデン ガーデン薬局）

P-72

病院派遣薬剤師を対象とした糖尿病スティグマについての意識調査

演者：福永 由美（日本調剤株式会社 医療戦略推進部）

P-73

糖尿病教室における薬物療法講義の再構築に向けて

演者：濱野 峰子（大分赤十字病院 薬剤部）

P-74

新人薬剤師と日本糖尿病療養指導士の糖尿病治療における考え方の差異から学んだこと

演者：関根 海愛（医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院）

P-75

当院における糖尿病教育入院の講義内容の見直しと今後の課題

演者：柴田 桃佳（製鉄記念八幡病院 薬剤部）

P-76

豪雪地帯における高齢者の意外な低血糖の原因を経験した一症例

演者：曾山 恭子（飯山赤十字病院 薬剤部）

プログラム

Program

P-77

メトホルミン塩酸塩を含有する配合錠とその単剤2種類との視覚的評価による飲みやすさの比較検討

演者：米田 正明（協和調剤薬局本局）

P-78

我国におけるグルカゴン製剤の処方状況調査

演者：齋藤 智之（順天堂大学健康総合科学先端研究機構）

P-79

インスリンリスプロBS注の出荷調整に伴う鹿児島厚生連病院における代替薬切り替え対応

演者：中村 有莉恵（鹿児島厚生連病院）

P-80

小樽市立病院精神科閉鎖病棟入院時における糖尿病のある人のHbA1c調査と便宜的にGLIM基準を使用した低栄養診断方法の検討

演者：橋本 哲郎（小樽市立病院 薬剤部）

P-81

糖尿病治療薬の処方と、食行動の変化の関連についてのアンケート調査

演者：宮崎 克人（株式会社美鈴）

P-82

「くすりと糖尿病」誌への論文掲載状況に関する実態調査
～振り返れば、きっと未来は変えられる～

演者：藤井 博之（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部）